

糖尿病リハのエキスパートが教える

## PT・OT・STのための 糖尿病を基礎から理解するセミナー

### 阿部 誠也 先生

湘南藤沢徳洲会病院理学療法士  
糖尿病療養指導士  
予防医療や先進医療をわかりやすく伝える  
フリーライター  
障害や病気を持つ人の「自分らしい働き方」を支援するキャリアコンサルタント  
(国家資格)

2026 8月9日(日) 9:30～11:50  
(予備時間12:00まで) (9:15～Zoom受付開始)

糖尿病を徹底的に理解したい人  
のためのセミナーです

全身の血管にダメージを与え、足を奪い、視力を奪い、腎臓や心臓や脳を破壊する。神経を犯して、思考まで奪い去る。本人も気付かぬほどゆっくりと。——これが糖尿病の現実です。

あらゆる病の根底には糖尿病が潜んでいます。糖尿病はリハビリテーションにとって、避けては通れない最大最強の敵です。

高血糖がどうやって血管や神経を破壊し全身をむしばむか、薬の複雑さや、なぜ運動で血糖が下がるのか。これらの仕組みは実はかなり複雑。そこには、複雑に絡み合う無数の機構が働いています。この複雑さを、「点」ではなく「線」で繋ぎ、本質的に理解している療法士は、決して多くありません。

糖尿病という疾患を、もう一度「根本から理解する」ためのセミナーです。

気鋭の医学史研究者がお送りする

## PT・OT・STが循環器疾患のリハビリテーション の考え方を理解するためのセミナー

### 小林 直樹 先生

湘南藤沢徳洲会病院主任理学療法士  
認定(循環)理学療法士・心臓リハ指導士  
集中治療理学療法士・医科学修士

2026 8月9日(日) 13:00～16:00  
(予備時間16:10まで) (12:45～Zoom受付開始)

循環器に問題を抱える患者を前に、  
迷わず判断できる療法士になる  
ためのセミナーです

「この生体で、この負荷に耐えられるのか？」  
リハビリテーションにおけるすべての介入は、この問いから始まります。

全ての医療は、呼吸と循環の管理の上に成り立っています。リハビリテーションも例外ではありません。しかし臨床では「異常な息切れの中で続けられる訓練」「気付かれないまま進行する不整脈」「頑張りとして見過ごされる過剰な負荷」こうした場面に少なからず遭遇します。

どれだけ治療手技が上手くても、どれだけADL訓練が洗練されていても、その前提に循環の理解と管理がなければ、それは“危険な介入”になり得ます。

本セミナーでは、心臓の見方、負荷のかけ方、中止の判断までを具体化し、明日から迷わず判断できる力を身につけます。

リハを深く理解する1日

Zoom『集中』webセミナー  
2026.8.9 [SUN]

お申し込みは **Webサイト** で賜ります

ナレッジリンク

検索

ナレッジリンクHP

